

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 3 月 11 日作成)

小委員会名	外装仕上げの耐用年数予測手法小委員会		主 査 名：今本啓一 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (耐久保全運営委員会)		委員長名：本橋健司 主 査 名：井上照郷
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファクターメソッドによる耐用年数設定に必要なリファレンス・サービスライフを実建物調査からデータ収集を行い、分析を行う。 ・主に UR 団地や標準仕様の下に外装材の施工・改修が行われる物件を対象とし、実地調査を中心にデータの収集を行う。 ・得られたデータの分析結果に基づき、外装仕上げ材の耐用年数とその予測手法を提案する。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し		
	今本啓一 (東京理科大学), 本橋健司 (芝浦工業大学) 兼松学 (東京理科大学), 井上照郷 (日本仕上工業会) 古賀 純子 (建築研究所), 榆木 堯 ((財) ベターリビング) 濱崎 仁 (建築研究所), 鹿毛 忠継 (建築研究所) 古賀 純子 (建築研究所), 大澤悟 (竹中工務店), 輿石直幸 (早稲田大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2012 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 複層塗仕上げ材の白亜化の観点からの寿命評価のデータを実地調査 (つくば団地) により取得した。 2. 白亜化, ひび割れに及ぼす方位・雨掛りの影響を定量評価した。 3. 2014 年度日本建築学会投稿用の成果を蓄積した。
委員会活動の問題点 ・課題	